

令和元年度 学校自己評価表(報告)

学校運営方針		学校運営計画		
全教職員が、時代や社会の変化、地域のニーズに対応できるよう創造性と自主性を発揮し学校改善に努め、生徒一人一人の自己実現を積極的に支援できる学校づくりをめざす。				
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標		
評価の小項目全体で36項目あったがB評価が4項目あった。教科指導の自主的学習促進と学力向上の大項目において自学自習、家庭学習の習慣を身につけさせるなど、基礎学力不足解消に向けての課題が明確になった。また、今年度リニューアルしたホームページの定期的な更新についてもB評価とA評価に向けて努力を必要とする結果であった。総合的な評価としてはA評価であるが、次年度への課題が明確になった。	基本的生活習慣の定着と倫理観の育成	規律ある生活態度を養う 交通事故防止とマナー向上 保護者と連携した指導の充実 全教職員の共通理解を図る		
	学習習慣の定着と学力向上	自主的学習態度の育成 基礎学力の定着と向上 授業時数を確保し授業改善 重点資格の取得		
	進路意識の啓発と希望進路の実現	体系的な進路指導計画づくり 望ましい勤労観、職業観の育成 キャリア教育の充実 希望進路実現のための基礎力養成		
	本校教育の地域への発信	魅力ある工業教育と新教育課程の取り組み 進路実現の取り組みと実績紹介 特色ある学校行事や部活動の紹介 目指せ入学生、長岡CATの活動紹介		
重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
教科指導	授業規律の確立	授業に不必要なものを片づけさせ、学習環境を整える。	A	A
		授業開始と同時に授業を受ける姿勢を整える。	A	
	自主的学習の促進と学力の向上	基礎的な知識と学力の定着を図る。	A	
		定期的に課題を与え、自学自習、家庭学習の習慣を身につけさせる。	B	
	授業の改善・工夫	生徒研究を奨励し、主体的学習態度を育成する。	B	
各種資格・検定の積極的な受験を奨励し、指導を通じて勤労観・職業観の育成を図る。		A		
個人情報管理と外部への発信	個人情報とネットワークシステムの安全で効率的な運用を行う。	成績処理の発展的なシステムの構築と運用を目指す。	A	
		研究と修養に励み、生徒に興味・関心を持たせる授業の充実に心掛ける。	A	
		ホームページを定期的に更新する。	B	
生徒指導	基本的生活習慣の確立と自己管理の徹底	定期的に服装・頭髪指導、立哨指導を行い、品位ある態度の育成を図る。	B	
		校内での携帯端末使用ルールの定着を図る。	B	
	交通マナーの向上	各学期に遺失・紛失物調査を行う。盗難発生の際は、アンケート調査を行い、盗難防止に対する意識を高める。	A	
		市内の通学路を中心に自転車通学等の該当指導を行う。	A	
	家庭・地域の連携と、教職員協力体制の確立	定期的に駐輪指導、自転車乗車マナーの校内指導を行う。	B	
生徒の状況把握進路意識の向上	問題行動等を起こした生徒の立ち直りに向けた組織的な指導を行う。	A		
	地区生活指導連絡協議会、学校評議員会等での情報交換を活用して、地域住民の信頼を得られるように努める。	B		
進路指導	生徒の適性に応じた主体的な進路選択 進路実現に向けての支援強化	各学期にいじめ防止対策委員会が行うアンケートを参考にして、生徒の状況を把握することで、適正な指導を行う。	A	
		適性検査の実施や担任・生徒・保護者との進路相談を励行する。	A	
		生徒や保護者に対するガイダンスを実施する。	A	
		実力テストや各種模試を積極的に受験させる。	B	
		面接や小論文、応募前企業見学の指導をする。	A	
		推薦入試、一般入試やセンター試験の受験の指導をする。	B	
特別活動	校友会活動の活性化 部活動の奨励	履歴書、受験願書など書類の書き方指導をする。	A	
		企業や長岡市、ハローワークとの情報交換を密に行う。	A	
保健環境	健康管理および、校舎内外の環境整備	運動会、文化祭などの学校行事に生徒が積極的に参加する。	A	
		部活動の意義、役割について理解を深める時間を確保し、参加者増による活性化に取り組む。	B	
		定期健康診断の実施、事後措置を行い、保護者と連携をとりながら生徒が積極的に学校生活を送ることができるようとりくむ。	A	
		保健講話、救急法の講習会を実施する。	A	
文化渉外	円滑なPTA活動 文化的環境の整備	清掃・大清掃・屋外清掃の徹底、および清掃用具の管理に努める。	A	
		ゴミの分別とゴミ出しルールの徹底をはかる。	B	
		保護者と連携したPTA活動に取り組む。	A	
		図書館ニュースを定期的に発行し、図書館の利用を促進する。	A	
成果	総合評価はAであるが、小項目でB評価が増えた。主な項目は個人情報管理と外部への発信、基本的生活習慣の確立と自己管理の徹底、部活動の奨励であり、今後改善すべき課題が明確になった。	視聴覚機器等を適正に使用及び管理する。	A	
		芸術鑑賞会など文化的行事を推進する。	A	
			総合評価	
			A	